

「リアルな感動経験を」

○最近めっきり朝晩涼しく、しのぎやすくなってきました。暑さの中練習をがんばってきた運動会は、明日が本番です。どうか好天の下、良いコンディションの下行えますように・・・。

○新聞等でもご覧になったと思いますが、4月に行われた全国学力学習状況調査の結果が公表されました。本校にも結果通知が届き、今、教職員全体で分析や対策を練っているところです。6年生児童への返却や全家庭への報告はもう少し後になりますが、取り急ぎ、最も気になった2点をお知らせします。教科調査ではなく、質問紙調査、いわゆるアンケートから見えてきたことです。もちろん、対象は6年生ですが、兄弟姉妹も多いことを考えると、本校全体の傾向とも考えられます。
※以下の「」は調査紙での文言です。

○調査によると、本校児童は、「いじめはいけない」意識が高く、「友達の約束は守り」「会うのが楽しく」、「みんなでやり遂げたい楽しい経験」があり、「学校を楽しく」感じて「自分にはいいところがある」との自尊感情を持てている子が多いという結果はうれしいことです。

○しかし、「テレビや DVD 視聴時間」が減った代わりに、スマホなどを使っての「ゲーム」や「メール、ネットなどに費やす時間」が非常に多く、平均をかなり上回りました。所持率も当然高く、「親との約束・決め事」がなされていない家庭が多いこともわかり、憂慮しているところです。

○登校してくる子どもたちが、ゲームの話に終始していることも珍しくありません。「百害あって一利なし」とまでは言わないものの、バーチャルな世界に浸っている時間が多いことが気になるのです。

○バーチャルな世界での感動より、リアルなこの世界での感動が勝ってほしいものです。明日の運動会でも何かしら心を動かされる子もいるはず。「みんなでやり遂げたい楽しい経験」は、生の体験を伴ってこそだと考えます。



○もう一つは、数年前は比較的多かった「読書時間」が激減して、「図書室や図書館に通う」率も極めて低くなってきていることです。長文読解はできるのですが、読み取るスピードに難があると出たのは「読書時間」の減少も原因の一つと考えられます。「スマホ等を使う時間」や「ゲーム時間」が増えたかわりに「読書時間」も削られたのでしょうか。

○言葉・文章から、想像した世界に浸ることも大切な体験です。読書の秋にちなんで、土入にできたほほえみセンター併設の図書館の利用も促したいところです。

〈学校長〉